

立憲ネット緑たちかわ

「立憲ネット緑たちかわ」は、立憲民主党、生活者ネットワーク、緑の党の市議会議員5人で活動している、立川市議会の会派です



酒井市長の2024年度予算は全会一致で可決！
「支え合いのまち」をみんなでつくろうと選挙公約や市民の声を盛り込んだ予算が議会を一つに！
厳しい時代だからこそ市民の声に耳を傾け、現場を知り、市民が活用できる政策となるよう私たち会派も新年度、さらに頑張ってお参ります。引き続きお声をお寄せください。



子育て・子育てを全力で応援！

給食費の無償化



新年度から小中学校の給食無償化が始まります。本来、国の役割である給食無償化を酒井新市政ではお金のやりくりで実現。求めてきた政策が市長公約と一致し実現できました。市長が変わり、政治が変わった大きな取組です。



学校給食の献立一例
(共同調理場instagramより引用)

産後ケアの拡充



助産師居宅訪問（アウトリーチ）型の、誰もが利用できる産後ケアが始まります。従前の日帰り型や宿泊型では、対象は生後4ヶ月まで、更に育児に不安を抱えていたり周囲に支援者がいないなどの利用要件がありました。かねてより求めてきたアウトリーチ型では、対象を生後1年まで拡大し、利用要件が撤廃されて、希望する方に広くご利用いただけるようになります。



会派で世田谷区の視察
(産後ケアセンターにて)

他にも多くの子育て政策が実現します！

- 認可外保育施設への保育料補助の拡充
- 未就学児の国民健康保険料(均等割額)無料化
- 放課後子ども教室くるブレを4校拡充
- 子どもの権利条例制定に向けた検討
- 図書館来館が困難な妊婦、産後1年以内の方に 図書館員が本をお届け
- 不妊治療の医療費助成を新設
- 低学年児童GPS端末購入補助
- 未就園児の定期預かり保育導入等



支え合いのまちづくりも全力！

障害児・者の移動支援の利用範囲を拡充



新たな移動範囲を「通学の時」「障害福祉サービスの通所の時」「自宅以外の場所から自宅以外の場所へ」の移動に利用できるようになります。ヘルパーの報酬単価も引き上げます。

認知症の応援体制の充実



認知症対策として、認知症地域支援推進員をすべての地域包括支援センターに配置（6人）。新たな部署として、高齢福祉課に認知症係が新設されます。

優しさあふれる立川市に向けた新たな取り組み！

- 補聴器購入助成制度の導入
- 根川緑道「霧の広場」リニューアル
- がん患者ウィッグ・胸部補正具購入助成
- くるりんバスの車内放送を小学生に
- フードシェアリングサービスの導入
- ストマ用装具の給付基準額を引き上げ等